



2021年3月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(2 ページ\)](#)
- [不具合 \(3 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces - パートナーダッシュボードに次の機能が導入されました。

- **[Partner self-onboarding]** : Cisco Spaces アカウントでパートナー権限が有効になっていない場合でも、Cisco Spaces - パートナーダッシュボードにログインできます。セルフオンボーディングの導入により、Cisco Spaces - パートナーダッシュボードに最初にログインしたときに表示される **[Spaces Partner Onboarding]** ダイアログボックスで、次のオプションからアカウントタイプを選択できます。
 - **[I want to create apps for my organization]** : 組織の内部専用のアプリを作成する場合は、このオプションを選択して **[Continue]** をクリックします。このオプションでは、アプリを Cisco Spaces - パートナー アプリケーションセンターに公開することはできません。
 - **[I'm a developer who provides solutions to Cisco Spaces customers]** : グローバルな顧客向けの Cisco Spaces - パートナー アプリケーションセンターにアプリケーションを作成して公開する場合は、このオプションを選択して **[Continue]** をクリックします。
- **[Retrieve forgotten password]** : Cisco Spaces - パートナーダッシュボードログインウィンドウからパスワードを取得または変更できるようになりました。
- **[Partner Onboarding]** : Cisco Spaces - パートナーダッシュボードの新しい **[Partner Onboarding]** タイルを使用して、**[Partners Onboarding Helper]** ウィンドウを表示できます。

[Partners Onboarding Helper] ウィンドウには、Cisco Spaces - パートナーダッシュボードの使用方法を説明するビデオとドキュメントが含まれています。これには、**[Onboarding**

Process]、[IoT Service Marketplace]、および Cisco Spaces - パートナー アプリケーション センターのパートナーアプリの構成に関する情報が含まれます。

- [Location Anchor Update] : 新しいイベント [LOCATION_ANCHOR_UPDATE] が、Cisco Spaces - パートナーダッシュボードの [Events] セクションに追加されます。

Partner Firehose API

Cisco Spaces - Partner Firehose API では、次の機能強化が加えられました。

- [Location Anchor Update] : WayFinding のユースケースをサポートするために、新しいイベント LOCATION_ANCHOR_UPDATE が追加されました。

このリリースでの変更点

ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

- **SSID 設定の機能強化** : SSID ウィンドウ ([Dashboard] > [Captive Portals] > [SSIDs]) に次の更新が加えられました。
 - [Import/Configure SSID] をクリックして SSID を作成すると、[Wireless Network] ドロップダウンリストのオプションが次のように変更されます。
 - オプションの [Meraki] が [Cisco Meraki] に変更されました。
 - オプション [CUWN] が [Cisco AireOS/Cisco Catalyst 9800] に変更されました。
 - [Cisco Aironet SSID] セクションの名前が [Cisco AireOS/Cisco Catalyst 9800 SSID] に変更されました。Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラの SSID および RADIUS サーバーの設定手順も表示できます。[Configure Manually] リンクをクリックして、これらの手順を表示します。
- **密度ルール** : [Actions] セクションで、密度ルールの通知頻度の新しいオプションを選択できるようになりました。新しく追加されたオプションは、[15 Minutes]、[30 Minutes]、[45 Minutes] に [Once] です。

マップサービス

Cisco Spaces の [Map Service] では、次の機能強化が加えられました。

- [Map Service] では、[Cisco Prime Infrastructure] のマップファイルを使用して、通常の AP とともに計画モードの AP をインポートできるようになりました。これらのインポートされた AP は、[Location Hierarchy] と [Map Service] の両方の下に表示されます。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#)（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。

表 1: Cisco Spaces 未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvu98859	新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる
CSCvv16880	ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode（設定モードが必要）」として誤って分類されることがある

解決済みの不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 2: Cisco Spaces 解決済みの不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvv91424	特定のルール的一致数またはスキップ数がしきい値を超えると、密度ルールレポートが表示されない
CSCvx97571	マップサービスとロケーション階層の位置の不一致

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。